

第52回全日本空手道選手権大会 第3回全日本空手道団体形選手権大会 オンライン監督会議

2024年11月26日(火) 19:00～

審判長 水流 清昭

1. 大会申し合わせ事項の確認
2. その他注意事項
3. 質疑応答

【競技運営事項】

① I Dカードとメディカルカード

- 1. 選手、監督はI Dカード（裏面：メディカルカード）を携行して競技場に入る。**
2. 審判団はI Dカードにより選手の本人確認をするが、回収はしない。ただし、メディカルカードにドクターの記載がある場合は、回収してコート主任または副主任が管理し、試合が終了後、選手に返却する。
3. コート主任は、カード記載がある選手が出場する際、メディカルカードを主審に渡して確認をさせる。

【競技運営事項】

②ゼッケンの着用（団体形はゼッケンなし）

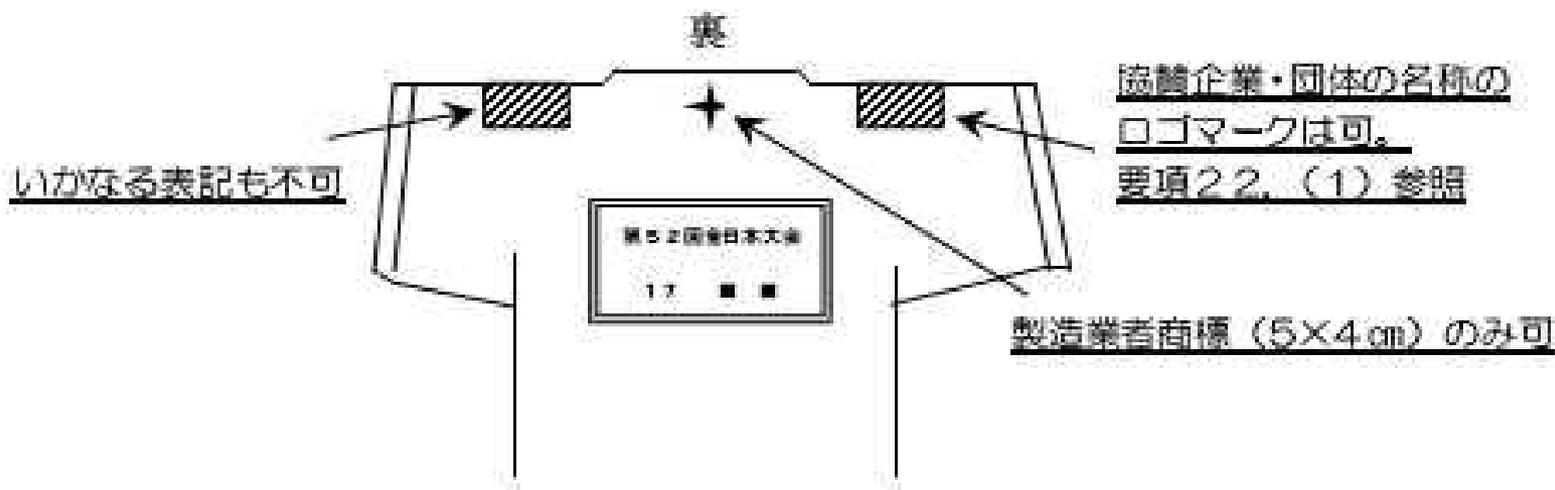
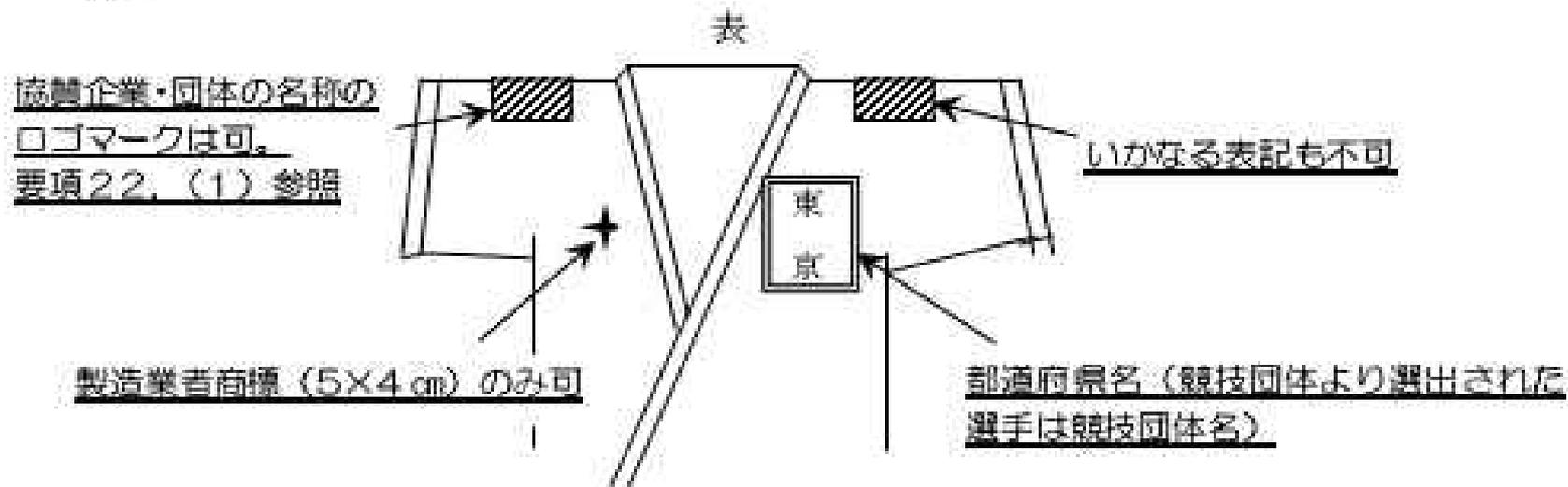
1. ゼッケンを正しく付けていない選手は出場することができない。

マジックテープ等での仮止めは不可とし、**四辺を縫い付けて空手着から外れないようにすること**。また、競技中にとれた場合は次の試合までに縫い付けられるよう努力してください。

（アリーナから退場できる回戦の場合は縫い付けてください。

回戦が続く場合は審判に提示してください）

【競技運営事項】



【競技運営事項】

③プロテスト

1. 形及び組手用のプロテスト用紙は各コート主任が管理しているため、抗議を行う場合はできるだけ早くコート主任に申し出る。
2. **抗議を行う場合、5分以内にプロテスト用紙に記入し抗議料20,000円を添えてコート主任に渡す。**その後コート主任はアピールジュリーの代表者に渡し、抗議の正当性について必要と思われる調査を行い、アクセプト（受け入れる）またはデクライン（拒否）を決める。アクセプトの場合は返金され、デクラインの場合は没収される。

※個人戦の準決勝・決勝ではプロテストは採用しない。

【組手競技】

①安全具

1. 実施要項「個人戦 16.安全具について」「団体戦 15.安全具について」の記載通りとする。**爪のチェックをお願いします！**
女子選手はチェストガード着用は必須です！
2. インステップガードについては、つま先の指が隠れる物のみ使用可とする。
3. 全ての安全具について色が剥げている物の使用は認めない。
※安全具、空手着等で不備があり2分間ルールを適用した場合、不備が訂正された場合であっても、監督はその試合につくことはできない。
※安全具の改造品は認めない。
※改造品は失格になります！

【組手競技】

②ファールカップ・チェストガード未着用の場合の対応について

審判は「ファールカップ・チェストガード：を着用していますか？」と口頭のみで質問を行う。 2024/10/30競技規定改訂より

※選手がNoと回答した場合、着用を促す。

試合開始前のコートでの最初の確認の場合は着用を促し、2分間ルールの適応となる。

※選手がYesと回答した場合

ファールカップ・チェストガード**未着用による怪我が発生した場合**、嘘の申告があったということで「失格」となる。

【組手競技】

②ファールカップ・チェストガード未着用の場合の対応について

試合開始前に一度も安全具・空手着チェックが行われておらず、ファールカップ・チェストガード未着用による怪我が発生した場合、無防備となり、着用を促し、2分間ルールの適応となる。

**※監督・コーチは
安全具・空手着について十分注意してください！**

【組手競技】

③ビデオレビュー

1. 組手団体戦決勝戦及び個人戦準決勝戦と決勝戦で採用する。
2. **監督は選手の出した技について、その技が入っていると思うときに椅子から立ってカードをあげることが出来る。判定中は立っていること。⇒相手の技については一切何も出来ない・何の技か告げない**
3. VRSが得点となる技を複数認めた場合は最も高い得点を与える。
4. 監督は副審が認めた技よりも高得点の技をリクエストできる⇒但し技名をいうことはできない
5. 技が入っていた場合は、主審は得点をコールし、カードは監督に戻される。技が入っていない（NO）と判断された場合は、カードは没収される。

【組手競技】

③ビデオレビュー

6. もう一方の監督が2番目にビデオレビューを提示する場合、最初のビデオレビューが開始される前にカードを提示しなければならない。開始とは、主審のビデオレビューのジェスチャーが終わる時点を言う。

【組手競技】

④同点の際の判断について

※個人戦において同点で先取がない場合

1. 1本の多い方
2. 技ありの多い方
3. 副審による判定
4. 主審による判定

※団体戦において同点で先取がない場合

上記 1. 2で勝敗が決まらない場合は引き分けになる。

※団体戦の勝者数または総得点数が同数の場合は代表者戦になる。

代表者戦で同点で先取のない場合

1. 1本の多い方
2. 技ありの多い方
3. 副審による判定
4. 主審による判定

【形競技・個人戦】

①競技方法（申し合わせ事項）

1. 予選ラウンド 1 回目は第 1 指定形、2 回目は第 2 指定形の中から選ばなければならない。準決勝ラウンド以降は得意形とする。
2. 予選ラウンドで、第 1・2 指定形の平均点が同点の場合、実施要項記載の手順により勝者を決定する。
3. 準決勝ラウンドの 2 つのグループ、それぞれ 1 位の競技者が対戦し、1 位と 2 位の座を競う。2 位の競技者は他のグループでの 3 位の競技者と対戦し、3 位の座を競う。
4. 競技者は各ラウンドで異なる形を演武しなければならない。ただし、引き分けの解消による再試合で使用した形は本選で使用できる。

【形競技・団体戦】

①競技方法（申し合わせ事項）

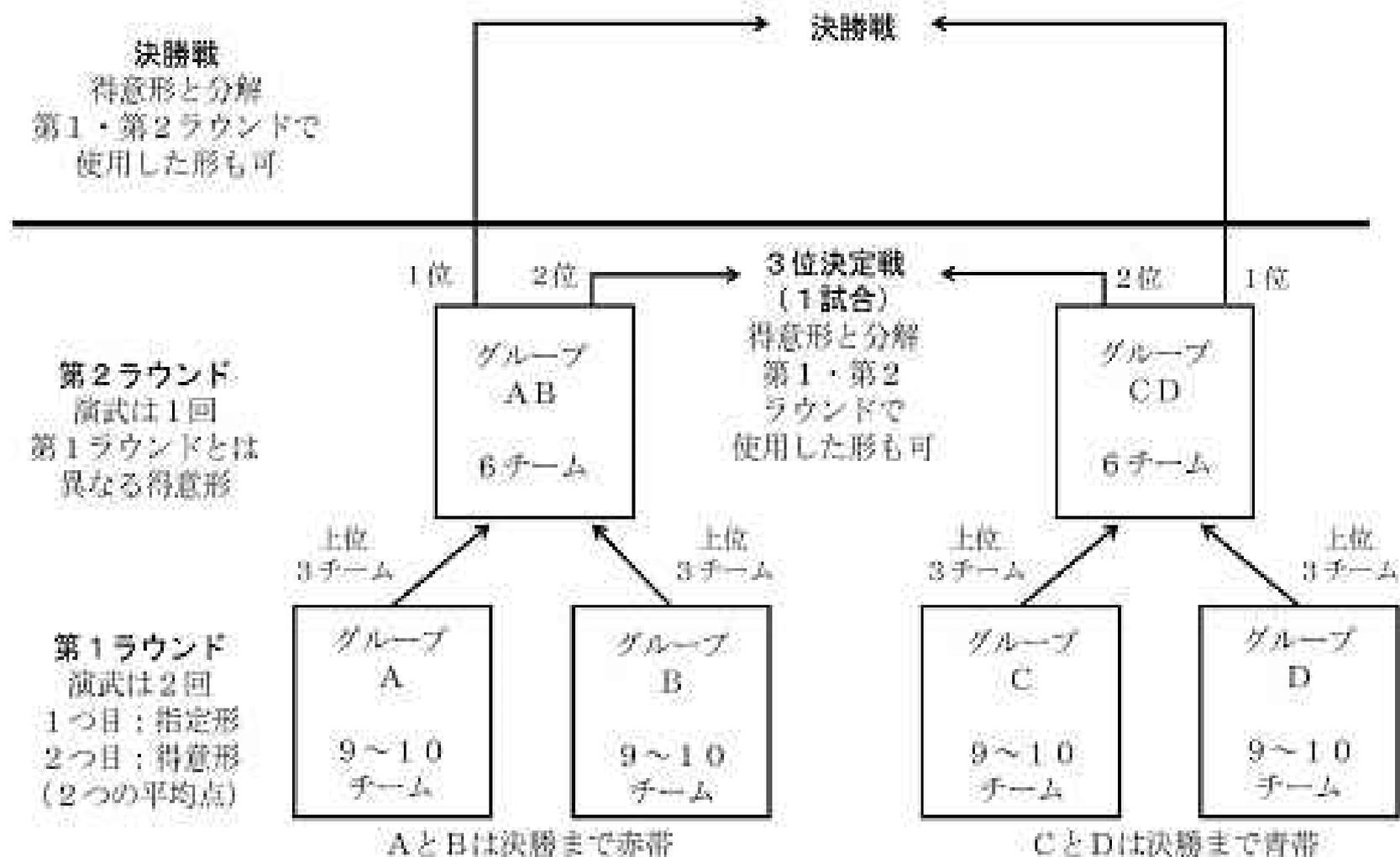
1. 予選はプール方式による。
2. 第1ラウンドは4グループに分けて行う（各チーム2演武）。
3. **第1ラウンド1回目の演武は指定形、2回目の演武は得意形から選択する。**
4. 第1ラウンドで行われた演武の平均点でグループごとの順位を決める。
5. 各グループの上位3チームが第2ラウンドへ進む。

【形競技・団体戦】

①競技方法（申し合わせ事項）

6. 第2ラウンドでは、第1ラウンドと異なる得意形を1つ演武する。
7. 第2ラウンドでは、そのラウンドで行われた演武の得点のみによって順位を決定する。（第1ラウンドの得点は考慮しない）。
8. 第2ラウンドでは各グループの1位が決勝戦に進出する。
9. 第2ラウンドでは各グループの2位が3位決定戦に進出する。
- 10. 決勝戦、3位決定戦では得意形を行う。第1ラウンド、第2ラウンドで使用した得意形を選択してもよい。**
11. 決勝戦、3位決定戦では分解を行う。

【形競技・団体戦】



【その他注意事項】

1. 所属する都道府県選手の審判又は監査を行った場合、その試合は無効とする。
2. 脳震盪等、選手の体調管理には十分に注意すること。

質疑応答

Zoomの挙手機能で
お知らせください。